

# Find ASIA

—横浜で出逢う、アジアの創造の担い手  
東アジア文化都市 2014 横浜

2014年8月1日(金)～11月3日(月・祝)開催

## 【企画構成】

下記の3つをプログラムの軸とし、会期終了まで、『アジアの創造の担い手が集う場、YCC』として、交流の場とアートを体感する空間を創出します。

### ① Find ASIA and myself (全館)

展示や滞在プログラムなどの日中韓現代アートプロジェクト。「コーヒーのある風景」を作り出すアーティストユニットL PACKのディレクションのもと、YCCのcaféが大変身する『Yokoso Cocowa Cafedesu』や、アーティストがYCC内に滞在し公開制作や展示を行う『滞在プログラム』、日中韓の現代アーティストの『展示プログラム』、そして飴屋法水、毛利悠子、トヨダヒトシなどの『イベントプログラム』の開催を予定しています。

### ② SPACE SPACE—横浜のクリエイターが生み出すラウンジ空間 (3F)

YCCの来場者が一休みできるラウンジ、トークやスクールなどの不定期イベントが行われるレクチャースペース— これらすべての機能を包括するマルチユースな空間を、横浜を拠点に活躍する若手のクリエイターNOSIGNERが設計。本企画にて、YCCならではのアートだけではなくデザインなどの創造産業の一面を担います。

また、ラウンジを会場にアートについて知る、学ぶスクールやトークが楽しめるスクールプログラム「アートと写真の月イチ学校」を開催予定です。

### ③ 情報センター (1F エントランス)

YCC1F エントランスがヨコハマトリエンナーレ 2014 や東アジア文化都市 2014 横浜のイベント情報を入手できる案内所として機能します。空間をデザインするのは地元・横浜を拠点に活動するインテリアデザインブランドのPAP DESIGN (パップデザイン)。また、横浜をはじめとしたアジア 11 都市に滞在するクリエイターたちが参加して制作した CREATIVE©ITIES「創造©都市」のインフォグラフィックス作品もご覧いただけます。

## ①-1 L PACK (エルパック) が手掛ける、交流の場を創出するプロジェクト

### カフェプロジェクト : ようこそ ここは カフェです Yokoso Cocowa Cafedesu @1F ホール



©孫遜 / INK MAN STUDIO

“コーヒーのある風景をつくる”ことを作品とするアーティストユニット L PACK (エルパック) による期間限定のアートカフェ。アーティストやアート関係者との出会いの場として機能、また、アーティスト自身が企画するハブニングイベントも満載。11:00~19:00 (オーダー時間 11:30~18:30) の営業時間外にも早朝のモーニングや夜間のバー企画が予定されています。カフェを囲む空間そのものが LPACK の作品であり、**カフェが触媒となり、人が集い“アートを体験できる場”**となります。カフェのロゴは、北京を拠点に活動する INKMAN STUDIO が手掛けました。

## ①-2 アーティストの作品制作を間近にみられる公開制作

### 滞在プログラム

#### JI Lei (吉磊 / ジー・レイ) in 横浜 (公開制作) (仮)

横浜滞在期間 : 7/15~9/14、公開制作 : 8/1~9/5、個展 : 9/6~11/3

▶中国成都市のアーティスト、ジー・レイが横浜に約2ヶ月間滞在し、日本社会を体験しながら作品を描き、個展を開催。YCC 3階のラウンジ横に設けられるスタジオで、制作の様子を垣間見ることができます。日本での滞在経験を語るトークイベントも開催予定です。

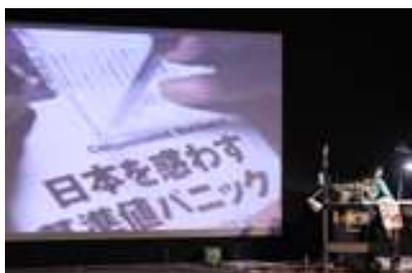
吉磊 (ジー・レイ) : 1972 年生まれ。中国・成都市を拠点に活動する中国人美術家。どんよりしたはっきりしない回想のような絵を描き、一見、旅行途中の悪筆のスケッチまたは年数の経った追憶紙片のような作品が特徴。画風の固定した中国人アーティストが多い中、絵画の不安定性と表現の豊かさをより重視する独自のスタンスをもつ。



#### 青山悟の世界を縫う (公開制作)

公開制作:8/1~8/26

▶工業用マシンで刺繍作品を制作することで知られる青山悟が、マシンを会場に持ち込み、「世界」を縫います。現在制作中の刺繍作品の公開制作を行うとともに、会場を巻き込んだ記録映像を制作予定。



青山悟 (アオヤマ サトル) : 1973 年生まれ。ロンドンのゴールドスミスカレッジ、テキスタイル学科を卒業後、シカゴ美術館附属美術大学大学院にて修士課程を修了。大量生産の為の道具である工業用マシンを用いて丹念に縫い上げられた刺繍作品を制作。現代人の営みと機械 (テクノロジー) との関係性に言及し、またそれにより失われつつある人間の感受性や創造性についての問題を提起する。

- 「メグロアドレス-都会に生きる作家」パフォーマンス (2012 / 目黒区美術館)  
撮影 : 田中啓介

“Meguro Address- Artist in Urban Life” performance at Meguro Museum of Art, 2012

photo by TANAKA Keisuke

## ①-3 日本・中国・韓国の現代アーティストの作品を展示

### 展示プログラム @全館



ギャラリーやコレクターなど、多くの方々と共に作りあげるアートプロジェクト展。これからのアジアを担う日本、中国、韓国のアーティストの絵画、写真、映像、インスタレーションなどの現代アート作品が YCC 全館を舞台に展示いたします。

【出展作家】何翔宇 (ヘ・シャンユ)、今井 俊介、INK MAN STUDIO、梁 丞佑 (ヤン・スンウー)、SHIMURAbros.、JUNG Yeondoo (ジョン・ヨンドゥ)

◀何翔宇 (ヘ・シャンユ)「My Fantasy」@B1F

撮影：表恒匡 | SANDWICH 協力：SCAI THE BATHHOUSE

## ②SPACE SPACE—横浜のクリエイターが生み出すラウンジ空間 (3F)

### NOSIGNER (ノザイナー) が手掛ける、空間インスタレーションプロジェクト▼

#### ラウンジ SPACE SPACE @3F

横浜を拠点に活動するデザインファーム NOSIGNER による空間インスタレーション。お客様が自由に時間を過ごせるラウンジを兼ねた空間に、宇宙から見たアジアの夜景を再現します。暗くひんやりした空間、ソファなどがあり自由に休憩が可能です。

暑い中、アート巡りで疲れた足を休めることができるスペースをご用意し皆様の来場をお待ちしています。



- ▶ラウンジを会場に、アートについて知る学ぶセミナーやトークが楽しめるスクールプログラム「アートと写真の月イチ学校」を開催予定。

## ③情報センター (1F エントランス)

### ヨコハマトリエンナーレ 2014 や東アジア文化都市 2014 横浜のイベント情報を入手できる案内所▼

#### 情報センター @1F エントランス

ヨコハマトリエンナーレ 2014 や東アジア文化都市 2014 横浜のイベント情報を入手できる案内所として 1F エントランスが機能。創造界限連携拠点である象の鼻テラスや BankART Studio NYK、黄金町バザールなどのエリアをつなぐ結節点である YCC のロケーションを活かし、アートを楽しむために横浜を訪れた方に、まず立ち寄っていただく場所として、あるいは街を歩き回ってひとやすみしたくなった時の休憩所としてご利用いただけます。アーティストグッズのショップも展開します。

